【総括表】

用途 1	
------	--

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合書庫	神田町	現状維持	
2	松平支所倉庫	九久平町	現状維持	
3	朝日ケ丘自転車等保管所	朝日ケ丘	現状維持	
4	岩倉倉庫	岩倉町	現状維持	

2 計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3 目標使用年数

原則、目標使用年数は57年以上とする。

4 対策の優先順位の考え方

施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に維持管理を行う。

1	施設名	総合書庫

1 施設の概要 (2019年3月31日時点)

所在地	神田町	延床面積	267.20 m
//III	1114-3		207120111

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積(㎡)	階数	備考
総合書庫	S造	1978	267.20	1 階	

2 個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等

目標使用年数57年以上を目指し、延命化実行計画(長寿命化計画)に基づき屋根・ 外壁、指定設備について計画的に予防保全を実施している。

3 対策内容と実施時期

(1)基本的な考え方

予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る。

(2)取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

- ☑:1) 点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
 - ①建築基準法による法定点検を実施する。
 - ②修繕履歴台帳による情報を集約・一元化し、修繕計画等へ反映する。
 - ③建物の耐久性の面から危険性が高いと思われる施設については、施設更新等を検討する。
- ☑:2)施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 将来需要などを想定しながら、機能縮減、機能転用などを検討していく。
- 口:3)民間活力の導入による事業推進や運営改善
- ☑:4)施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

構造体の残存年数を踏まえ、経年劣化による修繕に加えて社会的な要求等を満た す改修を行い、長寿命化を図る。

(3) その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4 対策内容(計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築等)

2	施設名	松平支所倉庫

1 施設の概要 (2019年3月31日時点)

	所在地	九久平町	延床而積	935.70 m ²
--	-----	------	------	-----------------------

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積(㎡)	階数	備考
倉庫 (旧園舎)	RC 造	1983	935.70	2階	
倉庫	S造	1983	25.92	1階	

2 個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等

松平支所倉庫は建築後36年を経過している。平成24年度末に松平こども園が移転 した後、平成25年度に当該施設を、保育課から松平支所に所管換えした。平成26年 度に施設の一部の改修工事、平成30年度に長寿命化工事(屋上防水及び外壁修繕)を 実施した。

3 対策内容と実施時期

(1)基本的な考え方

①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の3つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

(2)取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑:1)点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検(日常点検、保守点検、法定点検等)の観察により、施設の劣化状況や 修繕の緊急度を把握する。

点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。

☑:2)施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 余剰空間の用途転用を行い、多目的な利用を可能とすることで、利便性の向上を 図り、施設の有効活用に努める。

口:3)民間活力の導入による事業推進や運営改善

☑:4)施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

ユニバーサルデザイン・バリアフリー化への対応や利用者ニーズに応じた機能へ の改修など、費用対効果を踏まえた上で、用途に合わせて、施設としての利便性向 上に努める。

設備の更新にあたっては、省工ネ効果の高い照明の L E D 化など、既存設備より もメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討 し、初期費用(イニシャルコスト)だけでなく、維持管理を含めた費用(ランニン グコスト)の縮減に努める。

(3) その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4 対策内容(計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築等)

【個別表】

3 施設名 朝日ケ丘自転車等保管所

1 施設の概要 (2019年3月31日時点)

所在地	朝日ケ丘	延床面積	680.40 m
-----	------	------	----------

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積(㎡)	階数	備考
豊田市朝日ケ丘	1.WC 注	1004	690.40	4 17£5	
自転車等保管所	LWS 造	1994	680.40	1 階	

2 個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等

建設から約25年が経過し、老朽化が進んでいる。

令和元年度にエアコンの更新を実施した。

3 対策内容と実施時期

(1)基本的な考え方

「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

(2)取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑:1) 点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

各種点検(日常点検、保守点検、法定点検等)の観察により、施設の劣化状況や 修繕の緊急度を把握する。

点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。

]:2) 施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
]:3)民間活力の導入による事業推進や運営改善
□:4)施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

(3) その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4 対策内容(計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築等)

Ì			
	4	施設名	岩倉倉庫

1 施設の概要 (2019年3月31日時点)

所在地	岩倉町	延床面積 213.04 ㎡
-----	-----	---------------

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積(㎡)	階数	備考
岩倉倉庫	S造	2000	213.04	1階	

2 個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等

目標使用年数57年以上を目指し、延命化実行計画(長寿命化計画)に基づき屋根・ 外壁、指定設備について計画的に予防保全を実施している。

3 対策内容と実施時期

(1)基本的な考え方

予防保全型の維持管理を推進し、損傷が軽微な早期段階で安全性や経済性を踏まえた修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る。

(2)取組方針

以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

- ☑:1) 点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
 - ①建築基準法による法定点検を実施する。
 - ②修繕履歴台帳による情報を集約・一元化し、修繕計画等へ反映する。
 - ③建物の耐久性の面から危険性が高いと思われる施設については、施設更新等を検討する。
- ☑:2)施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 将来需要などを想定しながら、機能縮減、機能転用などを検討していく。
- 口:3)民間活力の導入による事業推進や運営改善
- ☑:4)施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

構造体の残存年数を踏まえ、経年劣化による修繕に加えて社会的な要求等を満た す改修を行い、長寿命化を図る。

(3) その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4 対策内容(計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築等)